

8月選抜

令和2年度 教育実践高度化専攻
言語系教科マネジメントコース（国語）試験問題

受験番号

--	--	--	--	--	--

令和二年度「教職」教育実践高度化専攻
言語系教科マネジメントコース(国語) 試験問題

注意事項 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

問題一(国語科教育)

国語科学習において話し合いを取り立てて指導する際の留意点について、次の三つの語句を文章中に用いて論ぜよ。ただし、解答に際し、必要であれば、学年段階を設定しても良い。

話し合いの仕方

「台本型手引き」

振り返り

令和二年度〔専門〕教育実践高度化専攻
言語系教科マネジメントコース(国語) 試験問題

注意事項 問題一～問題三の三問題から一問題を選択し解答すること。

選択した問題の番号を解答用紙の「問題番号」欄に必ず記入すること。

解答は別紙の解答用紙に記入すること。

問題一(国語学)

「仮名遣い」とは何かを説明した上で、「現代仮名遣い」における助詞「は」「へ」「を」の性質について、「歴史的仮名遣い」「ハ行転呼音」の観点から、できるだけ詳しく説明せよ。

問題二(国文学)

『源氏物語』の統編(三区分説では第三部)の物語世界について、知るところをできるだけ具体的に述べよ。

問題三(日本語教育学)

バイリンガル(二言語話者)の児童・生徒にとって、それぞれの言語を用いる能力と、教科学習等に必要な認知能力はどのような関係にあるか、カミングス(J. Cummins)の「二言語共有説」に基づき、具体的な例を挙げて説明せよ。